

平成29年度指定管理運営業務評価票

施設名称：江之子島文化芸術創造センター	指定管理者：長谷工コミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ	指定期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	所管課：府民文化部文化・スポーツ室文化課
---------------------	--------------------------------------	---------------------------	----------------------

評価項目	G 評価基準	H 指定管理者の自己評価	I 施設所管課の評価		J 評価委員会の指摘・提言	
			評価 S~C	評価 S~C		
I 提案の履行状況に関する項目	(1)施設の設置目的及び管理運営方針	<p>平成29年度事業計画に記載した運営方針と活動方針に基づき、計画的に事業を計画・実施している。とりわけ指定管理2期目の初年度にあたる平成29年度は、「施設の周知とネットワーク構築の基礎固め」の時期と位置付け、「ネットワーク」「教育」「プラットフォーム」をenocoの強みづくりの3本柱と位置付け、以下の事業を実施し成果を上げてきた。並行して今後5年間のenocoの方向性を「文化的コモンズの形成と担い手の育成」と設定し、5年後を見据えて取り組んでいる。</p> <p>■センターが提示した施設の運営方針や活動方針に則り、運営がなされているか。 ■enocoの認知度を高め、より多様で多くの人々に利用していただけるような施設の運営がなされているか。 ■各事業はセンターの方向性・強みづくりに沿った運営がなされているか。</p> <p>【目標値】 ◇来館者数延べ 145,000人 ◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ数 750件 ◇enocoと創造的活動を協働した個人・団体等の数 300件</p>	<p>【実績12月末】 ・来館者数延べ 113,124人(達成率78.0%) ・文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ数414件(達成率55.0%) ・enocoと創造的活動を協働した個人・団体等の数102件(達成率34.0%)</p> <p>【プラットフォーム形成支援事業】(委託事業) ◆カンヴァススキームの市町村展開(わがまちカンヴァス) ・豊能町 ・池田市 ・大東市 ・吹田市 ・西淀川区 ◆阪南スカイタウンまちづくり支援事業(住宅まちづくり部) ◆Osaka Creative Forum</p>	A	B	<p>・来館者数が昨年度よりもあがっており評価できる。</p> <p>・「機関」としての取組みは評価できるが、「場」としては、あまり賑わっていない。「機関」の実績を「場」の活性化に繋げる等の取組みを進めていくべき。また、施設所管課は数値だけにこだわらず、どういう「場」にしていきたいのか検討し、オーダーしていくことが重要。</p> <p>・「認知度向上」は基準がはっきりしないため、評価が難しい。数値や評価対象を工夫する必要がある。</p> <p>・本施設を含め、指定管理の評価サイクルを指定管理期間に応じて実施できるように府全体として検討が必要ではないか。</p>
	(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>■高齢者、障がい者等に対する利用援助が適切になされているか。</p>	<p>各種研修を実施して職員の知識と意識を高め、高齢者や障がい者等、府民の誰もが安心して気持ちよく利用できるよう、ホスピタリティを意識した接遇に努めている。特に障がい者の施設利用については、外部組織と連携して障がい者に活動や表現の機会を提供する事業を企画・実施した。(10月のマルシェに合わせて「大阪成蹊大学芸術学部×西淀路希望の家」+みなさんでできあがる作品展一さがす・みつける・つたえあうー)を実施)</p>	A	A	<p>・特に意見なし</p>

施設名称：江之子島文化芸術創造センター		指定管理者：長谷工コミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ		指定期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日		所管課：府民文化部文化・スポーツ室文化課	
評価項目	G 評価基準	H 指定管理者の自己評価	評価 S～C	I 施設所管課の評価	評価 S～C	J 評価委員会の指摘・提言	
<p>(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p> <p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p>	<p>①協働の拠点づくりに関する業務が適切になされているか。</p> <p>ア 文化関係機関とのネットワークの構築と文化情報の収集・提供</p> <p>イ 創造的な活動機会の創出等の支援</p> <p>ウ 相談窓口の設置</p>	<p>ア 文化関係機関とのネットワークの構築と文化情報の収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府内の文化関係機関のネットワーク形成をテーマに大阪アートカウンシル統括責任者や文化関係機関等で大阪の文化ネットワークの形成強化について議論を交わし、その成果を広く共有すべく、ニュースレターに掲載して発信をした。 各事業に文化関係機関との連携を組み込むことで、効率的・効果的なネットワークの構築と文化情報の収集に努めた。 ◆「enocoの学校」 ・フィールドワーク先として城之崎アートセンター等を訪問 ◆「パブリック・リデザイン」 ・日本グラフィック協会大阪地区と共催 ◆「凸凹ラジオ」 ・府内の美術館を取材し、enocoから発信(8件) <p>イ 創造的な活動機会の創出等の支援</p> <p>多様な世代や関心に対応して、広く府民が創造的な活動を体験できる事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆親子に創造的な体験の機会を提供するワークショップ ・即興演奏専門のオーケストラに所属するヴィオラ奏者を講師に、楽譜を読めない、楽器を演奏できない人でもできる音楽づくりを行った。 ◆enoco[study?] 社会とかかわりながら作品制作を行うアーティストの育成 ◎1件の採用に対して13件の応募 ◆「enocoの学校」 ・毎年開催している「enocoの学校」では、受講生が受講する通常授業に加え、受講生以外の人でも受講できる特別講義やえのこゼミナールを今回初めて実施。 ◎enocoの学校受講生：14名(定数20名) ◎enocoの学校特別講義：53名(定数50名) ◎えのこゼミナール(5回実施予定) 1回目：8名/2回目：8名/3回目：8名 ◆大阪成蹊大学芸術学部表現教育コースとの連携協定締結 ・府内の障がい者施設の作品展を学生と共同で開催 ・「enocoコレクションキャラバン」や1月に開催する浅野竹二展での「対話型鑑賞」への学生の参加 ◆大学生等のインターンの受け入れ ◎enocoインターン4名 ◎大阪新美術館建設準備室(大阪市)と連携した「20世紀の写真芸術」展9名 	S	<p>ア 文化関係機関とのネットワークの構築と文化情報の収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> アートカウンシルや府内外の文化施設等と連携を図りながら、ネットワークの拡充に努めている。 <p>イ 創造的な活動機会の創出等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆親子に創造的な体験の機会を提供するワークショップ ・プロのアーティストによるワークショップの提供により、従来にない創造体験をもたらし、参加者からも評価が高かった。 ◆enoco[study?] ・応募件数が昨年度(10件)より増加し、実績あるアーティストからの応募もあるなど、事業の関心が高まっている。 ◆「enocoの学校」 ・応募数に対し、受講生の人数が満たなかった点について原因を分析し、来年度の改善につなげること。 ・今回新しく導入した特別講義等では、受講生に加え、一般の方も多く聴講でき、enocoへの関心を高める取組みとなっている。 ・卒業生の中には、社会課題解決に向け、主体的に取り組む者も現れるなど、人材育成の成果が見られる。 ◆大学生にenocoの事業の企画や運営に携わってもらうことで、enocoへの理解を深めるとともに、専門性の高い人材育成の機会にも繋がっている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆「enocoの学校」 ・受講生の数だけでなく、受講生が満足を得られたかどうかも重要。数値と内容の両面で見ることが重要。 	

施設名称：江之子島文化芸術創造センター		指定管理者：長谷工コミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ	指定期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	所管課：府民文化部文化・スポーツ室文化課		
評価項目	G 評価基準	H 指定管理者の自己評価	評価 S～C	I 施設所管課の評価	評価 S～C	J 評価委員会の指摘・提言
		<p>ウ 相談窓口の設置</p> <p>◆「eno so done!」 10月から月2回「eno so done!」と題した相談会の実施をするなど、大阪府内の市町村を中心に様々な相談に応えている。 ◎相談件数：13件</p> <p>◆「eno so done!」フォーラム ・SNSの活用をテーマにしたフォーラムの開催 (講師：Geolocation Technology代表山本敬介氏) ・アクセス解析の重要性等について学ぶ機会を設けた。またこれを機会にGeolocation Technologyに協力を依頼し、enocoのWEBサイトについて具体的な検証をすることになった。 ◎参加者22名</p> <p>◆「パブリック・リデザイン」 ・大阪で活躍するグラフィックデザイナーといったプロのクリエイターと市町村をマッチングし、実際の業務で利用するパンフレット等のデザイン制作に取り組んだ。 ◎3市町村の採用に対して30件の応募 ◎3市町村：(河内長野市総合政策部広報広聴課、大東市街づくり部交通対策課、岸和田市まちづくり推進部都市計画課) ◆「パブリック・リデザイン」シンポジウム ※2月開催予定 ・事業の成果を紹介するとともに、各市町村の担当者とクリエイターの間で交わされてきたプロセスを振り返ることで、情報を効果的に発信するための必要なデザインについて理解を深める。</p> <p>【今後開催予定の事業について】 ◆大阪府内で活動するクリエイターとメディア関係者、enocoとの関係強化を目的とした交流会を2月3日に開催予定。 ◆親子に創造的な体験の機会を提供するワークショップ ・2月に子どもと一緒にプロジェクションマッピングを制作する予定</p>		<p>ウ 相談窓口の設置</p> <p>◆「eno so done!」 ・市町村等からの要望に応え、相談期間を拡大する等、前向きな姿勢は評価できる。</p> <p>◆「eno so done!」フォーラム ・市町村から多く寄せられる課題やニーズを反映したテーマを設定している。 ・フォーラムで得た知見やネットワークを、enocoの事業展開にも具体的に役立てていくこと。</p> <p>◆「パブリック・リデザイン」 ・市民の生活にとって必要な情報を社会に向けて効果的に発信し、必要とする人々に確実に届けるための「デザイン」が極めて重要であることを市町村が学ぶことができている。</p> <p>【今後開催予定の事業について】 ・交流会では、enocoのネットワーク強化に確実につながるような実施内容とすること。 ・シンポジウム、ワークショップについては、ターゲットに向けて効果的な広報に取り組むこと。</p>		
	<p>②フリースペース、ライブラリー兼休憩室等の利活用に関する業務</p> <p>■誰もが自由に利用できる空間として運用されているか。</p>	<p>地下のフリースペースは、カフェ機能を備えた、誰もが自由に利用できる空間として運用し、クリエイターや地域の人々が気軽に仕事や打ち合わせが出来るようにしている。なお、カフェについては12月末をもって中止することとなったため、2018年度以降の対応を急ぎ検討中である。</p>	A	<p>・地下のフリースペースは、施設の状況利用を生み出せる重要な空間であり、カフェは、来館者の交流を促進する機能として設けられていたことから、今後の対応について早急に対応すること。</p>	B	<p>・特に意見なし</p>

施設名称：江之子島文化芸術創造センター		指定管理者：長谷工コミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ	指定期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日	所管課：府民文化部文化・スポーツ室文化課		
評価項目	G 評価基準	H 指定管理者の自己評価	評価 S～C	I 施設所管課の評価	J 評価委員会の指摘・提言	
	<p>③府所蔵作品活用業務</p> <p>■美術コレクションの積極的な貸出し</p> <p>【目標値】</p> <p>◇作品活用点数 1,100点</p> <p>◇中規模以上の企画展 3回/年 ※共催含む</p>	<p>①美術コレクションの保管</p> <p>美術コレクションの内容に精通した学芸員を1名配置すると共に、保管する美術コレクションに保険をかけ、適切な保管・管理に努めている。</p> <p>②美術コレクションの展示</p> <p>◆「須田剋太」展(会期:6月9日～25日)</p> <p>※来場者数:547人 ※作品展示数:63点</p> <p>・人気の高い須田剋太の「街道をゆく」挿絵原画展を昨年に引き続き開催。</p> <p>◆「20世紀の写真芸術」(府市共催)</p> <p>(会期:11月22日～12月16日)</p> <p>※来場者数:1,174人 ※作品展示数:93点(府:47点)</p> <p>・芸術に関わる仕事に興味を持つインターン生を募り、学芸員の指導のもと、府市が所蔵する作品から選定し、展示を行った。</p> <p>・大阪新美術館建設準備室(大阪市)と連携により、互いのコレクションを持ち寄ることで訴求力を高め、多くの来館者を得ることができた。また子ども向けに関心の高いワークショップ「ピンホールカメラでとってみよう」を併催することで、集客と知名度の向上に努めた。</p> <p>◆「enocoコレクションキャラバン」</p> <p>・府内の小学校・中学校・高等学校(国立・公立・私立、支援学校含む)を対象に、美術コレクションを持参して展示しワークショップを実施することで、美術コレクションの周知に努め、貸出しや来館者の増加に努めた。</p> <p>◎5校採用に対し、11校の応募あり。1月より実施する。実施予定校:(千早赤阪村立千早小吹台小学校、大阪市苗代小学校、箕面市立萱野小学校、堺市立上野芝中学校)</p> <p>※1校辞退</p> <p>③美術コレクションの貸出し</p> <p>・美術コレクションの貸出しに努め、大阪国際がんセンターにおいては、美術コレクションの管理や掛け替え、案内パンフレットの制作など、大阪国際がんセンターの要望にきめ細かに応えることで、貸出しの長期継続化に努めた。</p> <p>◎作品展示数:127点</p> <p>・日本生命病院と協議を重ね、病院の共用部(コリドー)にコレクションを常時展示できることとなった(1～2点)。</p> <p>◎新規貸出件数:5件 / 新規貸出作品点数:67点</p> <p>④作品状態チェック、清掃業務</p> <p>・コレクション展や新規貸出の際に額やガラス等の状態を確認し、必要に応じて修復等の対応を行っている。</p> <p>【実績12月末時点】</p> <p>・作品活用点数962点(達成率87.0%)</p> <p>・中規模以上の企画展2回(達成率66.6%)</p> <p>【今後開催予定の事業について】</p> <p>◆1月よりenocoにて、「浅野竹二」展を開催。(作品展示数48点)</p> <p>府学芸員によるトーク、子ども向け対話型鑑賞を実施する等子どもから大人まで楽しめる内容にする予定。</p>	S	<p>①美術コレクションの保管</p> <p>引続き、適切な保管・管理に努めること。</p> <p>②美術コレクションの展示</p> <p>・昨年度より1回多い、計2回の展覧会を予定しており、府民が作品に触れる機会の充実に努めている。</p> <p>◆「20世紀の写真芸術」(府市共催)</p> <p>・府市のコレクションを持ち寄ることで、戦後の写真史を概観できる質の高い展示を実現させ、専門家の評価も高く、集客にもつながった。</p> <p>・展覧会づくりに必要な知識や技術の習得、アートの専門性について、学生が学ぶ貴重な機会を提供した。</p> <p>◆「enocoコレクションキャラバン」</p> <p>・昨年度申込みがなかった中学校や支援学校からも申込みがあり、事業の関心が高まっている。</p> <p>・単なる展示ではなく、学芸員のサポートのもと、子どもたち同士で対話を重ね、美術作品を鑑賞することにより、従来にはない形で作品への関心、理解を深める機会を提供している。</p>	A	<p>◆「enocoコレクションキャラバン」</p> <p>・作品に子供たちが触れる取組みはとても評価できる。これからも続けてほしい。</p>

施設名称：江之子島文化芸術創造センター		指定管理者：長谷工コミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ		指定期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日		所管課：府民文化部文化・スポーツ室文化課	
評価項目	G 評価基準	H 指定管理者の自己評価	I 施設所管課の評価		J 評価委員会の指摘・提言		
			評価 S～C	評価 S～C			
	<p>④貸館運営業務</p> <p>■戦略的な営業の実施 ■適正な減免の実施</p> <p>【目標値】 ◇多目的ルーム(1～4)利用率60% ◇多目的ルーム(5～12)利用率60%</p>	<p>・長谷工グループが発行する社内報・掲示板や、マンション入居者向けの情報誌(発行部数36万部)にenocoを掲載して施設利用をPRした。 ・地域の振興町会に依頼して、町内会会館にパンフレットを配架していただき利用促進に務めた。 ・貸館における利用料の減免については、館内に審査委員会を設置し、利用目的や内容を評価して厳正に審査を行った。</p> <p>【実績12月末時点】 ・R1～4(展示室)利用率 37.5%(達成率62.5%) ・R5～12(多目的・事務室)利用率 41.3%(達成率68.8%) ※参考:主催事業を含めた利用率 ・R1～4(展示室)利用率 46.4% ・R5～12(多目的・事務室)利用率 43.8%</p> <p>・減免:全額2件、半額3件</p>	B	<p>・利用率(特に多目的ルーム5～12)が低い数字にとどまっているため、長期利用の開拓等、しっかりと改善に努めること。 ・規程に沿った運営を行うとともに、審査委員会において審査を実施。不平等な取扱がないよう適切に運営している。</p>	B	・特に意見なし	
	<p>⑤地域住民や江之子島まちづくり事業との協働・連帯業務</p> <p>■まちづくり事業との協働企画、広報連携、近隣病院の開院に合わせ、効果的な事業の実施 ■西区の水辺空間やクリエイターを活用したまちづくり事業の連携</p>	<p>◆ニュースレター ・enocoの情報や江之子島の地域情報を掲載したニュースレターを3回(各13,000部)発行し、全国の美術館、アートセンター、アートスペース、芸術系大学、大阪府内の図書館・公立施設、各市町村の文化担当部局・企画担当部局等に送付して、enocoの認知度向上にも努めている。 ◆「えのこdeマルシェ」 ・毎回テーマを変えて今年は3回実施。うち1回は、DECOBOCOと連携し、enocoやマンションのスタジオ等を会場にした地域の文化祭として実施。 ◎平均879名</p> <p>・周辺住民の参画を促すため、津波高潮ステーションと連携して、関心の高い「防災」をテーマにしたラジオ放送「凸凹ラジオ」を計4回 ◎5月8月10月のマルシェ開催時と11月に実施 ・津波高潮ステーションのイベント「ぼう祭のつどい」(11月12日)でも出張ラジオ放送を行った。 ・マンション部門が推進する江之子島まちづくり事業「DECOBOCO」とは密に連携を図って相互の施設利用を促進すると共に、来年6月2日の日本生命病院開院に向けて、まちびらきイベントの準備を病院と共に進めている。</p>	A	<p>◆「えのこdeマルシェ」 ・これまでアートに触れたことのない人に対して、アートに触れる機会を提供する場として機能している。 ・地域の交流や、アーティスト、クリエイターの新たな活動領域を生み出すとともに、enocoとクリエイターとのネットワークの拡大に繋がっている。</p> <p>・津波高潮ステーションやDECOBOCOなど、地域の機関とさらなる協働・連携に努めること。</p>	A	・特に意見なし	

施設名称：江之子島文化芸術創造センター		指定管理者：長谷工コミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ		指定期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日		所管課：府民文化部文化・スポーツ室文化課	
評価項目	G 評価基準	H 指定管理者の自己評価	I 施設所管課の評価		J 評価委員会の指摘・提言		
			評価 S～C	評価 S～C			
	⑥自主事業の実施 ■生涯学習の機会の提供 ■プラットフォーム形成支援事業との連携	◆講師紹介 ◎2件 【外部資金によるプラットフォーム形成支援事業】 ◀実施中の案件▶ ◆安威川ダム ファンづくり会運営業務(茨木市観光協会) ◆大阪国際がんセンター 絵画の展示及び管理方法の監修業務(大阪国際がんセンター) ◆市民の居場所づくりのためのアートプログラム実施業務(泉南市埋蔵文化センター) ◆泉大津市立図書館のリノベーション・ワークショップ(泉大津市) ◆和泉・久保惣ミュージアムタウン魅力創出業務(和泉市) ◆狭山池博物館運営検討委託(都市整備部) ◀実施予定▶ ◆大学間連携2017「WELLNESS LIFESTYLE」支援業務(WOLL、大学コンソーシアム大阪) ◆SENSHUアートサミット実施に係る企画検討委託(泉大津市)	A	・これまでの実績を活かし、外部資金によるプラットフォーム手法を用いた事業を相当数受託しているが、より積極的に自主事業を展開していくこと。	A	・特に意見なし	
	⑦広報計画に基づき適切になされているか。 ■SNS等の広報媒体や利用者の多様なニーズを考慮した広報を行っているか。 【目標値】 ◇WEBサイト全体の総セッション数 100,000回/年 ◇WEBサイト全体のリピーター率 50% ◇HP更新頻度 3回以上/週 ◇メールニュース配信者数 2,500件(者) ◇メディア掲載数 50媒体以上/年	・幅広い人々に情報を伝えるべく、雑誌、新聞、WEB媒体への情報掲載依頼を積極的に行うと共に、コレクション展の開催については新聞社の後援を得ることで情報の周知を図った。また、施設外壁に懸垂幕を設置し、近隣や地下鉄中央線の乗客に展示会の開催をアピールする新たな試みを始めた。 ・コレクション展ではプレスリリースにプレスが使用可能な広報用掲載画像一覧資料・申込書を添付し、メディアからの問い合わせを促した。 ・SNSについてもツイッターとフェイスブック、インスタグラムを中心に積極的に活用し、WEBサイトやメールマガジンと連動させることで情報の拡散に努めた。 ・WEBサイトについては、各コンテンツの情報が増えてきており求める情報の場所が直感的に把握できるようなインターフェースにするため、年度末までに全面改定の予定。 【実績値12月末時点】 ・HP全体の総セッション数87,309回/年(達成率:87.0%) ・HP全体のリピーター率31.8% ・HPの更新頻度 3.6回以上/週 ・メルマガ配信件数 2117件/回(達成率:84.7%) ・メディア掲載数 26媒体/年(達成率:52.0%)	A	・メディア掲載数の目標値を達成できるよう努めること。 ・SNSの発信だけでは情報が行き届かない方々に情報提供するため、新聞社の後援獲得や、懸垂幕の設置等に取り組んでいる。 ・中規模以上の企画展を実施する際は、開催の2ヶ月前に報道提供を行い、新聞社やメディアだけでなく、雑誌等への働きかけを強化した。 ・ターゲットごとにメディアを使いわけするなど、SNSの活用について「eno so done!」フォーラムで学んだことを活用すること。 ・WEBサイトについて、必要な情報がしっかりと届けられる仕様にする。	B	・一般の人に分かりにくくなっている。 ・事業のネーミングもブランディングが必要。事業単体ではなく、統一感、一体感を持って広報することが重要。 ・数字以外でも評価できる工夫が必要。 ・WEBサイトについても分かりにくい。初めて訪れた人でも分かりやすいものにすべき。 ・メルマガの配信先についてどのような配信先か、どのような層が伸びているか等分析するとよい。	
	(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	■センターの維持管理、安全管理、改修等が適格、迅速に実施されているか。 ■防災・安全対策等、危機管理体制が確立されているか。	・enocoの維持管理に必要な各種点検について、年間実施計画に基づいて予定通り実施している。 ・現地責任者の下、緊急体制を整えて連絡網を整備し、危機管理体制を確立している。 ・館内3階、美術作品を保管している収蔵庫内の空調機から冷媒のガス漏れが発生したが、迅速に急対応を行った。	A	・事業計画に即した業務実施がなされており、建物の維持管理は、計画に基づき確実に実行されている。	A	
(6)府施策との整合	■府施策に協力して取り組んでいるか。	・知的障がい者の就業について、施設の特性を活かした障がい者の就労支援をすべきと昨年度の評価委員からいただいた意見を基に知的障がい者の施設と連携して、その活動を広く府民に知ってもらう展示会を企画・実施し、マルシェにも出店してもらった(10月)。 ・館内に万博誘致の三角柱を設置したり、イベントチラシに万博マークを掲載する等、万博誘致PRに協力した。	A	・知的障がい者の就業について、施設の活動内容を活かした形で行われている。 ・万博誘致PRに積極的に協力している。	A	・特に意見なし	

施設名称：江之子島文化芸術創造センター		指定管理者：長谷工コミュニティ・E-DESIGNプラットフォームグループ		指定期間：平成29年4月1日～平成34年3月31日		所管課：府民文化部文化・スポーツ室文化課	
評価項目	G 評価基準	H 指定管理者の自己評価	I 施設所管課の評価		J 評価委員会の指摘・提言		
			評価 S～C	評価 S～C			
II さらなるサービス向上に関する事項	(1)アンケート調査等	<p>【実績値】9月時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の企画展アンケート数111枚（達成率111%） アンケートプラス評価 91.9% ・貸館アンケート数13枚（達成率26%） アンケートプラス評価 92% <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■中規模以上の企画展アンケート有効回答数100以上。 アンケートの結果プラス評価80%以上。 ■貸館アンケート有効回答数50以上。 アンケートの結果プラス評価80%以上。 ■アンケートの回収に向けた効果的な取組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーム利用者やセミナー・イベント参加者・来館者にアンケートを実施し、特にコメントには注意し適宜運営に反映している。アンケートの設置場所を増やして筆記スペースも確保し、アンケートの収集に努めている。 ・一般市民が多く来訪するマルシェイベントでより多くのアンケートを収集するため、設問にシールを貼るゲーム感覚のアンケートボードを制作したり、インターン生の子どものアイデアを採用して、回答者には特典を配る等の工夫を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の企画展アンケート、貸館アンケートのプラス評価について、目標値を達成。 ・貸館アンケート有効回答数が目標値に届いていないため、目標達成に努めること。 ・マルシェ時のアンケート回収については、インターン生のアイデアを取入れ、効果的に回収することに努めている。 	A	・特に意見なし
	(2)その他創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ■enocoのファンづくりに努めているか。 ■その他サービス向上に繋がる取組み、創意工夫(定性的な評価も含める)に努めているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォーム形成支援事業によって実現した「トコトコダン」や近隣の津波高潮ステーション、地元NPO等と連携して、enocoの活動や地域のまちづくり活動を支援していく、「えのこクラブ(仮)」を12月に発足。enocoはその事務局としての役割を担うことで、江之子島のまちづくり形成、そしてenocoのファンを着実に増やしていく活動を開始した。 ・「えのこクラブ(仮)」主体で、6月2日にまちびらきを予定。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・「えのこクラブ(仮)」の今後の具体的な活動に期待する。 	A	・特に意見なし
III 適正な管理業務の遂行を図ることが出来る能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	<ul style="list-style-type: none"> ■収支計画どおりに適正に事業を実施しているか。 <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇利用料金等収入 20,902千円 ◇事業費・広告宣伝費(カフェ・物販除く) 11,565千円 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入:利用料金 11,993千円(達成率:55.0%) ・支出:事業費・広告費(カフェ・物販除く) 4,170千円(達成率:36.0%) ・利用料金収入は、昨年より3,001千円減っている。 ・事業費については、実施時期の前後はあるが、ほぼ計画通りに実施している。(年度末達成率見込約95%) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室利用率の向上に努め、利用料金収入の改善を行うこと。 	B	・特に意見なし
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	<ul style="list-style-type: none"> ■事業実施に必要な運営体制・配置になっているか。 ■従事者への管理監督体制・責任体制は妥当であるか。 ■職員研修は十分に行われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブ分野に豊富な実績と人脈を有する人材を引き続き館長に配置してネットワークの構築に努めると共に、多様な分野の専門性を有し、領域横断的な協働に豊富な経験を有する人材を非常勤職員として効果的に配置することで、費用対効果の高い施設運営に努めている。 ・職員研修として、消防訓練・コンプライアンス研修を実施した。今後年度内に人権研修と個人情報保護研修を実施予定。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に必要な運営体制、配置、管理監督体制になっている。 ・各種研修をきちんと実施している。 	A	・特に意見なし
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	<ul style="list-style-type: none"> ■共同事業体の経営状況、経営規模、健全な財務状況等(財務諸表により確認) 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同事業体の経営状況、経営規模、財務状況は、施設運営を担う上で問題のない状況で安定している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な運営基盤を築いている。 	A	・特に意見なし

S 計画以上に進んでいる、目標を大幅に達成している(目標値の20～30%+をめぐり)
A 計画通りに進んでいる、目標を概ね達成している
B 目標を達成できていない部分がある、一部改善が求められる
C 計画がほとんど達成できていない、大幅な改善が求められる